

別紙

京セラディスプレイ株式会社 広島工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
京セラディスプレイ株式会社 広島工場
- (2) 事業所の所在地
広島県三次市四拾貫町9 1番地
- (3) 業種
2919 その他電子部品（液晶表示装置及びその他電子・光学表示装置）製造業
- (4) 従業員数
189人
- (5) 事業所位置図
別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成13（2001）年度を基準年度とし、平成27（2015）年度から平成28（2016）年度までの2年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。

特に、今後更に増加傾向にある温室効果ガスの排出量抑制に努め、ISO14001環境マネジメントシステムを通じて、従来取り組んできた省エネルギーを中心とする活動をより一層強化し、広島県地球温暖化防止地域計画の目標達成に寄与するとともに、長期的、継続的に温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいきます。

2 方針

- 環境マネジメントシステムに基づく、継続的改善に努めます。
 - 環境に関する各種法令・条例・協定等に基づく、規制・基準を順守します。
 - 環境負荷低減及び汚染の予防に取り組みます。
 - ・ エネルギー使用量の削減による温室効果ガスの低減
 - ・ 化学物質の適正管理
 - ・ 環境汚染の予防
- 方針を実現するために環境目的及び環境目標を設定し、実行します。
- 関係官庁・地域住民・取引先と積極的なコミュニケーションに努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成12年度	基準年度 平成13年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	燃料の使用	1,387	1,351	1,297
	他人から供給された熱の使用			
	他人から供給された電気の使用	12,588	12,091	8,468
合 計		13,975	13,442	9,765

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成12年度	基準年度 平成13年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成12年度	基準年度 平成13年度	直近年度 平成26年度
メタン	自動車（ガソリン）使用	—	0.0262	0.0082
	自動車（軽油）使用		0.0025	0.0000
一酸化二窒素	ディーゼル機関の使用	—	0.755	0
	自動車（ガソリン）使用		1.054	0.330
	自動車（軽油）使用		0.130	0.001
	産業廃棄物の焼却 （紙屑または木屑）		0.374	0.021
	（廃プラスチック）		7.172	1.559
HFC PFC SF ₆				
合 計		—	9.485	1.919

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成13年度)	削減目標		目標年度 (平成〇〇年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
総排出量				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位の数量：生産量 (シート数)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数 (t-CO₂/シート数)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成13年度)			原単位 削減目 標	目標年度 (平成28年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	13,442	781,560	0.0172	15.0			0.0146
非エネルギー起源CO ₂							
メタン	1.01	781,560	1.29E-06	15.0			1.10E-06
一酸化二窒素	0.82	781,560	1.05E-06	15.0			8.92E-07
フロン類				15.0			
総排出量	13,423	781,560	0.0172	15.0			0.0146

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

項目1 電気使用に伴うCO₂排出量の抑制

(目標)

電気使用量に伴うCO₂排出量を1%/年削減します。(対絶対量見込み)

[平成28年排出量見込み 8468 t-CO₂⇒目標削減量: 85 t-CO₂]

(具体的な取組み)

<製造ライン空調>

- 空調機運転条件の見直し
- スクリュー冷凍機凝縮器の定期洗浄
- 循環ファンのインバーター設置と調整
- ライン非稼働時の設定見直し
- 空調循環風量見直し

<ユーティリティ設備>

- ユーティリティ見直しによる休日不要ユーティリティの停止
- ユーティリティ設備のオーバーホールによる能力回復
- 真空ポンプの設定圧見直し

<事務棟>

- エアコン設定温度の適正化。(夏場28℃、冬場20℃)
- 不必要照明の消灯

<製造ライン>

- エアブロー量の適正化
- 漏れ等の削減
- 不必要時のバルブ閉

項目2 燃料使用に伴うCO₂排出量の抑制

(目標)

燃料使用に伴うCO₂排出量を1%/年削減します(対絶対量見込み)

[平成28年排出量見込み 1297 t-CO₂⇒目標削減量: 13 t-CO₂]

(具体的な取組み)

<製造ラインの空調>

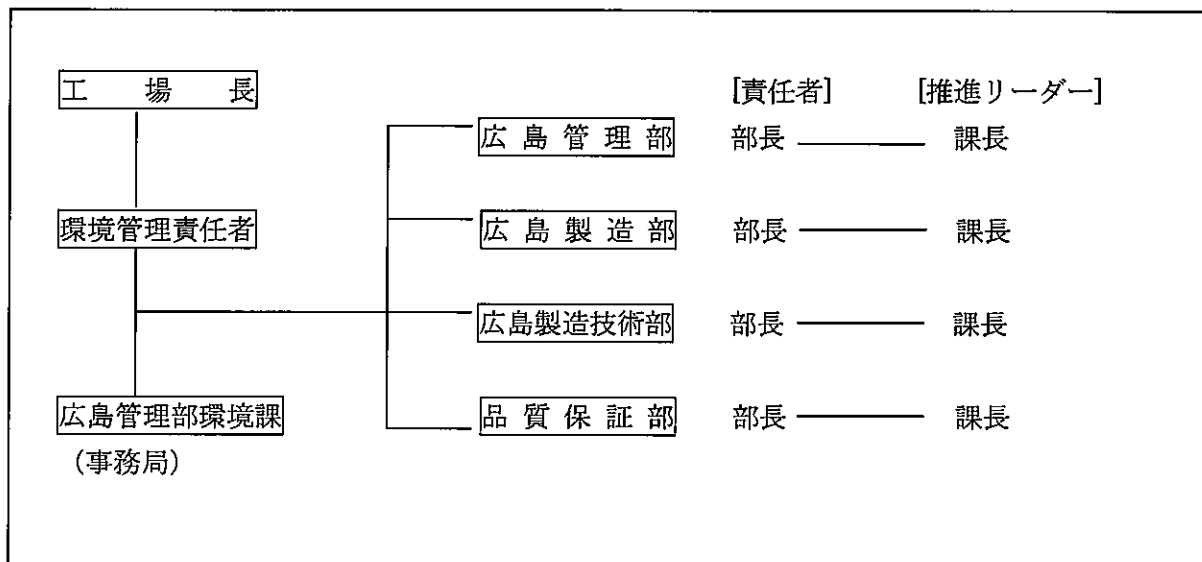
- 空調運転条件の見直し

<ユーティリティ設備>

- 蒸気ドレン回収の見直し
- 加湿条件見直し

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

広島管理部環境課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、全社環境管理委員会において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画の公表

- ・事業所での閲覧。